

2023年度フォトコンテスト 受賞者喜びの声

一般社団法人 建設コンサルタント協会広報事業専門委員会

第14回建コンフォト大賞は「あなたのお気に入りの“土木施設”」をテーマに全国から320点の応募がありました。また、第10回建コンフォト大賞Jr.は「土木施設を探せ！」をテーマに小・中・高校生から209点の応募がありました。厳正な審査の結果、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞10点、グリーンインフラ特別賞2点（建コンフォト大賞のみ）を選定しております。

その中から、最優秀賞および優秀賞を受賞したみなさんから喜びの声を頂きましたので紹介します。
全入賞作品は協会ホームページでご覧いただけます。

URL: https://www.jcca.or.jp/achievement/photo_contest/

第14回建コンフォト大賞

最優秀賞 「集魚灯に照らされる阿波しらさぎ大橋」

奈良県 笠井 忠

(撮影地:徳島県徳島市)



受賞者
コメント

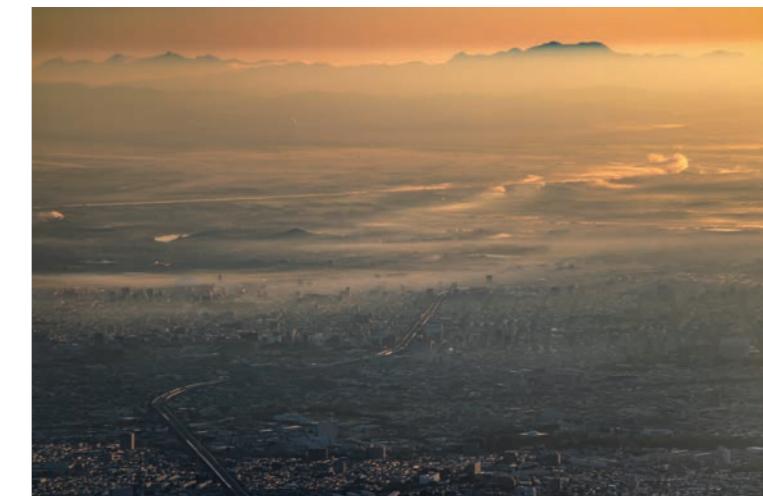
最優秀賞に選出いただき誠に光栄に存じます。

阿波しらさぎ大橋は、船が通る河川部と干潟部で異なる橋梁型式が採用され、干潟部には橋脚を建てず、斜張橋とケーブルトラスを組み合わせた美しい形状で、干潟の生き物にも配慮されています。

吉野川河口では、冬にはシラスウナギ漁が行なわれ、川面を照らす漁船の幻想的な光に包まれますが、まばゆいばかりのライトは橋脚も照らし、橋をライトアップしているように見えました。

優秀賞 「目覚め」 北海道 荒岡 栄二郎

(撮影地:北海道札幌市)



受賞者
コメント

この度は素晴らしい賞を頂き大変光栄です。

この写真は札幌市西方に位置する手稲山から朝日に染まる石狩平野を見渡したものになります。目立つの市街地を縫うように伸びる札樽自動車道で、その奥には丘珠空港、モエレ沼公園が続き、都市を支える数多くのインフラ施設を見出すことができます。この日は夕張山地、そして遠く十勝連峰まで見通すことができ、広大な北海道に位置する大都市札幌らしい写真になったと思っています。

優秀賞 「津波防堤 2023/1.1 希望の朝日」 福島県 門林 泰志郎

(撮影地:福島県双葉郡浪江町)



受賞者
コメント

優秀賞受賞にあたり、誠にありがとうございます。

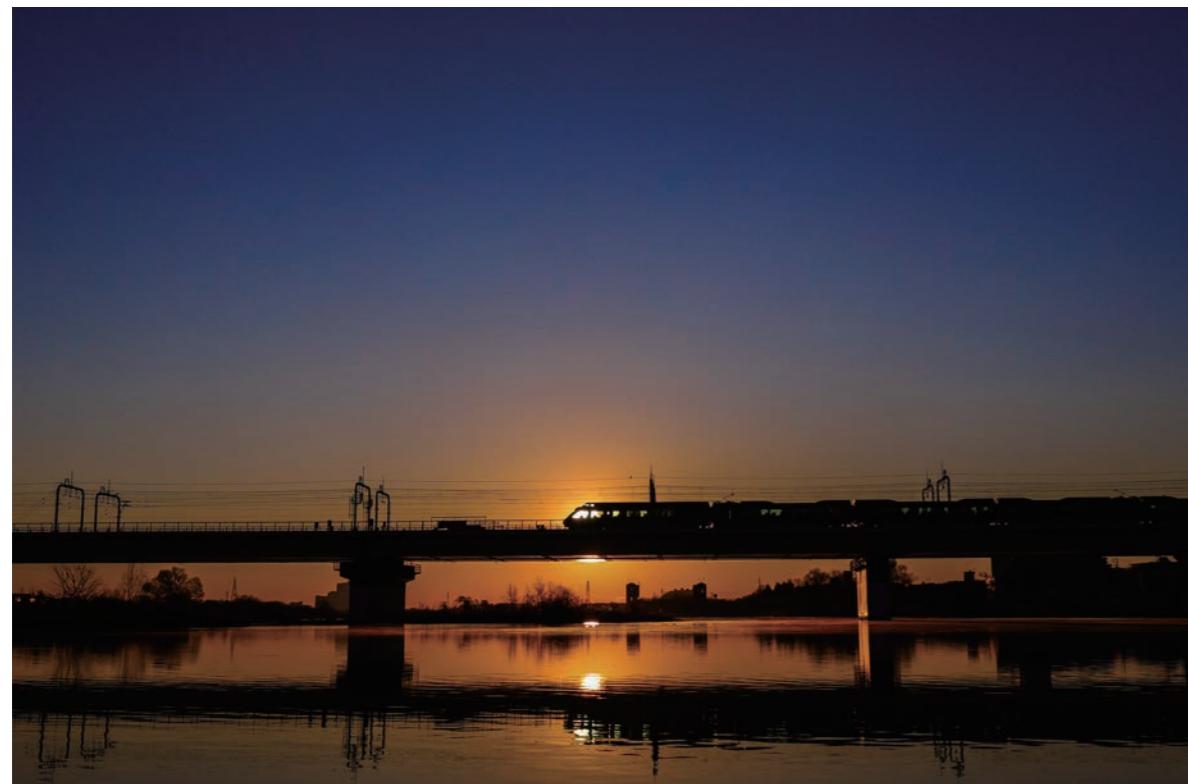
毎年かかさず作品を応募し何とか日本の土木技術の凄さ伝えたい、その思いで応募していました。この作品は、福島県双葉郡浪江町請戸漁港海岸です。3.11も13年目になり、大津波で失われた町ですが、いまだに行方不明の人々がいます。

放射能の問題も大きく山積しています。毎年恒例の初日の出、希望の願い、いろいろな願いを込めての浪江町の人々の姿です。強い防潮堤は浪江請戸を守ります。

第10回建コンフォト大賞Jr.

ジュニア最優秀賞 「夜明」

神奈川県 松高 秀哉
昭和鉄道高等学校
(撮影地: 神奈川県川崎市)



受賞者 コメント

ジュニア最優秀賞ありがとうございます。
朝日の当たる列車を撮るのか、シルエットで浮かび上がる列車を撮るのか、すごく悩んだ覚えがあります。
朝日の位置と特急列車のタイミングがちょうど合い、完璧な1枚が撮れたと思います。
私自身もとても気に入っている写真です。

ジュニア優秀賞 「Ginza scramble crossing」

愛知県 中村 光希
名古屋中学校 (撮影地: 東京都中央区)



受賞者 コメント

銀座の交差点を通過するさまざまな車の様子をスローシャッターで表現しました。
交差点ならではの横断歩道の縞模様と車の残像に美しさを感じました。思い通りに撮れた一枚で
ジュニア優秀賞を受賞することができ、とても嬉しいです。

ジュニア優秀賞 「春色」

群馬県 齋藤 彩人
勢多農林高等学校 (撮影地: 群馬県伊勢崎市)



受賞者 コメント

この度はジュニア優秀賞にご選考いただきありがとうございます。また、このような機会を提供してくださった先生方にも感謝申し上げます。
本作品は伊勢崎市の波志江沼に架かる「波志江ふれあい橋」を撮影したものです。冬はイルミネーションに、春は桜に彩られ、四季折々の表情を見せる橋です。今回は春空の下、桜に映える姿を撮影しました。「春色」の対岸へ渡る時の心躍るような感情を想像していただけたら幸いです。